

令和8年9月16日

令和8年度「未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業（活字分野）」の実施について

～フランクフルト・ブックフェア、ロンドン・ブックフェアでの作家等の国際展開を支援～

文化庁は、我が国の文化芸術が国際的な評価を高めていくため、将来的に国際舞台での活躍が期待されるアーティストや作家、翻訳家等（以下、アーティスト等）がグローバルな文脈で評価を獲得していくための総合的な支援を行い、あわせて諸外国の文化機関や我が国の関係省庁・機関とも連携し、オールジャパンで国際的な活動支援を行うための体制を構築することを目的に、「未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業」を実施しています（別添資料を参照）。

令和8年度は、音楽、美術、文芸等の3分野で事業を実施しておりますが、文芸等においては一般社団法人日本書籍出版協会に委託し、ドイツおよびイギリスにおいて現地の企業や教育機関、フェスティバル・フェア等の海外拠点や在外公館・JETRO・国際交流基金をはじめとする関係省庁・機関と連携し、さまざまな施策を展開しています。

この度、本事業の一環として、フランクフルト・ブックフェア及びロンドン・ブックフェアの機会にあわせ、以下の取り組みを実施することとなりましたのでお知らせします。

1. 「フランクフルト・ブックフェア 2026」において作家高瀬隼子氏のトークイベント等を開催

世界最大級の書籍見本市である「フランクフルト・ブックフェア 2026」において、同フェアの文学振興イニシアチブである Litprom（リトプロム *注）と連携したトークイベント等を実施します。芥川賞受賞作家である高瀬隼子氏にご渡航いただき、ドイツ語翻訳版が刊行されている著書『おいしいごはんが食べられますように』の作品背景等についてお話しいただく他、サイン会・読者交流会にご参加いただきます。また、現地出版社 DuMont 社と連携した、フランクフルト市文化局が主催する文芸フェスティバル「OPEN BOOKS」内のトークイベントへの登壇も決定しました。

（1）「フランクフルト・ブックフェア 2026」内トークイベント

開催日時：令和8年10月10日 13:00～13:50

会場：Frankfurter Buchmesse Global Stage（Hall 5.1/6.1 ホワイエ）

登壇者：高瀬 隼子（作家）

モデレーター：Malu Schrader（文学研究者、フリーランス編集者、文化ジャーナリスト）

言語：日本語／ドイツ語／英語（ドイツ語－英語は同時通訳）

URL：<https://event.buchmesse.de/de/sessions/61753>

（2）「フランクフルト・ブックフェア 2026」内 ①サイン会 ②Meet the Author

開催日時：令和8年10月10日 ①14:00～14:30 ②15:00～16:00

会場：Frankfurter Buchmesse

①Global Stage(Hall 5.1/6.1 ホワイエ)

②Japan Booth(Hall 4.2, F34)

参加者:高瀬 隼子(作家)

(3) 「OPEN BOOKS」

主催:フランクフルト市文化局

開催日時:令和8年 10 月9日 17:00

会場:Evangelische Akademie 大ホール

登壇者:高瀬 隼子(作家)

モデレーター:Malu Schrader(文学研究者、フリーランス編集者、文化ジャーナリスト)

言語:日本語/ドイツ語

URL: <https://www.openbooks-frankfurt.de/>

(ドイツ語のみ/イベントの詳細は後日公開される予定です)

*注) フランクフルト・ブックフェアが推進する文学・翻訳交流プログラム。アジアやアフリカ、ラテンアメリカ等の文学作品をドイツ語圏へ紹介し、世界各国の著者や読者、文芸機関を結ぶ交流と発信の場を提供している。

2. 「ロンドン・ブックフェア 2027」マーケットフォーカス(主賓国待遇)としてジャパン・ブースを設置・運営

フランクフルトと並び、世界三大ブックフェアの一つとも言われる「ロンドン・ブックフェア 2027」において、同フェアの主賓国待遇となるマーケットフォーカスに日本が選出されたことに伴い、日本文化紹介や出版ビジネス、ネットワーキングを目的としたジャパン・ブースを設置・運営します。会期中は派遣するアーティスト等に登壇いただき、現地拠点や関係機関とも連携しながら、フェア内外でセミナーやトークイベント等を実施します。詳細は後日発表いたします。

開催日時:令和9年3月 16 日～18 日

会場:ExCeL London

参加企業・団体:15～20 社程度(予定)

渡航アーティスト等:未定

【担当】文化庁文化経済・国際課

藤田、堀口、吉川

【電話】03-5253-4111(代表)

03-6734-4898(直通)

文化芸術のグローバル展開の推進

未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業

令和8年度予算額
(前年度予算額)128百万円
128百万円

現状・課題

- 分野ごとの特性はあるものの、世界的に訴求力のあるポップカルチャー領域も含め、将来的に国際舞台での活躍が期待される才能ある若手のアーティスト等を発掘し、国際的な評価を高めるための支援及び環境が整っていない。
- アーティストだけでなく、コンテンツ等の文化芸術資源のプロデュース、発信及び流通のコーディネートができ、かつ多言語でそれらを行える人材が不足している。
- 国際的な評価形成が海外の専門家・文化施設間のネットワーク内で形成される場合が多いものの、我が国の専門人材のこういったネットワークへのアクセスやネットワークづくりの機会が限られている。

事業内容

- ・ アーティスト等の国際的な評価形成に向けて、国際的に重要な地域においてアーティスト及び専門家間のネットワーク構築を後押しし、日本のアーティストをグローバルに価値付けていくための拠点を形成する。
- ・ 海外拠点を中核に、国際舞台での活躍が期待される傑出したアーティストの海外での活動を後押しするため、当該分野における評価形成の構造や傾向、ステークホルダー、市場の特性等を分析し、また、グローバルな文化や評価システムを十分に理解した上で、拠点を中心にアーティストの評価形成に係る戦略的な文化芸術プロデュース力を組み合わせた海外展開を推進する。
- ・ 関係省庁・機関（在外公館・JETRO・国際交流基金・JNTO等）とも連携しつつアーティスト等を支援する体制を構築。

●新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2025改訂版（令和7年6月13日閣議決定）

②海外展開及び世界に通用するコンテンツの制作・流通の促進

ii) コンテンツ制作の支援

コンテンツ産業のグローバル競争力を強化するため、日本発コンテンツの海外展開を支援し、売上シェアの拡大を図るべく、重点戦略国・地域においては、韓国コンテンツ振興院（KOCCA）のうち海外展開支援を行う組織体制を参考に、現地ニーズを踏まえた支援体制の整備を進め、JETRO等の出先機関の機能強化、迅速な現地対応が可能な海外拠点の設置を含め、マーケティング・広報・ローカライズ支援を総合的に展開する

●知的財産推進計画（令和7年6月3日知的財産戦略本部決定）

4. 新たなクールジャパン戦略のフォローアップ

(2) コンテンツ戦略

・日本の文化芸術の国際発信強化とグローバル展開をビジネスの考え方を取り入れつつ効果的・戦略的に進めるため、トップレベルのアーティスト等を発掘し、当該芸術分野における国際的な中心地域のほか、今後の経済成長やグローバル・サウスの観点も含めて、グローバルレベルでのキャリアを積むことができる場への参加支援・マッチング、海外におけるネットワーク構築やプロモーション活動に関するサポート等の総合的な支援プログラムを官民共同で実施する。



「海外拠点でのアーティスト支援の例」

バンコク拠点で支援したポピュラー音楽グループのライブ



「グローバルな活躍の舞台の例」
コーチェラ・フェスティバル

カリフォルニア州のコーアチェラ・バレーで開催される世界最大規模の音楽フェスティバル。

アウトプット（活動目標）

- ・海外での拠点数（年間：4拠点）
- ・重点支援アーティストの数（年間：10人・組）

アウトカム（成果目標）

中期（令和9年頃）

グローバルなトップアーティスト等とのネットワークの構築、現地での評価形成に繋がる効果的な活動の実施

アウトカム（成果目標）

長期（令和11年頃）

世界的に権威のあるアワードへのノミネート・入賞やフェス、劇場等での実績の増。国際的なマーケットでの作品等の流通

担当：文化経済・国際課